

農薬概説(2018) 昨年度版からの主な改訂点

※農薬概説は毎年最新の情報となるよう修正を加えております。年度ごとの数字等の変化に加え、今回の主な修正点は以下の通りです(記載した頁は2018年版)。

全般

- 古い改正等のいきさつや、それ以前の状況の解説は削除。
- 本文中で巻末資料の内容に触れる場合は、資料番号と法律名等を追記。

第1章 作物保護と農薬

2. 病害虫と雑草による被害 (1)病害 1頁

- 報告されている病害数の変更。

第2章 植物防疫行政

4. 防除事業 (2)緊急防除 25頁

- 最新の情報に更新。

5. 農林水産航空事業 (2)無人航空機の利用 2)安全対策等 27頁

- マルチローターの自動操縦に関する記述を追加。

6. 植物検疫 (1)輸入検疫 3)輸入の禁止 29頁

- 熱処理等→遺伝子診断等

- (3)国内検疫 2)侵入警戒調査 30頁

- 例示の変更。クインスランドミバエ→ミカンコミバエ

第3章 農薬行政

3. 農薬の登録 (2)登録手続きと検査の仕組み 3)毒性 囲み記事 [毒性試験方法の概要] 6.長期毒性(n)1年間反復経口投与毒性 41頁

- イヌの記載を削除。

第4章 関係法令解説

1. 農薬に関わる法体系 48頁

- 農薬に関する主な法律の一覧表を追加

2. 農薬取締法の解説 (1)農薬取締法の変遷 49頁

- 2002年、2003年の解説に補足。

- (2)農薬取締法の概要 20)罰則 68頁

- 文章を再整理。

3. 関係法令と動向 (6)水道法 農薬類(水質管理目標設定項目)の対象農薬リスト 88頁

- 平成30年4月1日現在に更新。

第5章 農薬の一般知識

2. 農薬の分類 (1)用途別分類 5)植物成長調整剤 98頁

●他項と揃えて簡潔に記載。

3. 農薬の特性 (2)作用機構 102 頁～

●系統的かつ詳細に全面改訂。

4. 農薬の開発 (1)理想の農薬→求められる農薬 111 頁

●項目名の変更。現状に沿って再整理。

第6章 施用技術

1. 散布技術の基礎 (3)散布時の気象条件 4)露 121 頁

●解説を追記。

2. 施用(散布)方法 (2)そのまま施用するもの 126 頁

●5)豆つぶ剤の散布方法 を追加。

(3)空中散布 126 頁

●現状に沿って全面改訂。

第8章 農薬の安全・適正使用 146 頁～

●現状に沿って全面改訂。

第9章 病害虫・雑草とその防除

1. 病害 (4)診断と防除 3)殺菌剤耐性と防除対策 ①耐性菌対策 b)ガイドライン,
リスク表の活用 198 頁

●CAA 剤・DMI 剤のガイドラインも公開されたことを記載。

2. 害虫 (3)害虫の防除方法 3)生物的防除法 ②導入天敵の放飼 209 頁

●ベダリアテントウの輸入元の訂正。ハワイ→台湾

6)害虫の総合的防除 220, 221 頁

●IPM の出自の訂正。西欧→米国

●IPM 実践指針の対象作物に「露地きく」を追加。

3. 雑草 222 頁～

●現状に沿って全面改訂。

資料

●改正があったもの

10 農薬登録保留基準 259 頁

16 種苗法施行規則 268 頁(本誌の記載範囲では変更なし)

18 植物防疫法施行規則 276 頁(本誌の記載範囲では変更なし)

23 水質汚濁防止法 294 頁(本誌の記載範囲では変更なし)

26 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 298 頁

27 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 302 頁

33→34 農薬の作用機構分類 335 頁

●追加したもの

30 空中散布における無人航空機利用技術指導指針 313 頁